



2021年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年7月14日

上場会社名 株式会社MORESCO 上場取引所 東
 コード番号 5018 URL <http://www.moresco.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 赤田 民生
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 専務執行役員 (氏名) 竹内 隆 TEL 078-303-9010
 四半期報告書提出予定日 2020年7月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満四捨五入)

1. 2021年2月期第1四半期の連結業績（2020年3月1日～2020年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第1四半期	5,884	△13.2	142	△54.0	24	△93.7	△17	—
2020年2月期第1四半期	6,776	△2.8	309	△47.0	378	△41.6	177	△58.1

(注) 包括利益 2021年2月期第1四半期 △426百万円 (—%) 2020年2月期第1四半期 368百万円 (2.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第1四半期	△1.80	—
2020年2月期第1四半期	18.43	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年2月期第1四半期	27,766	17,465	55.4	1,603.04
2020年2月期	28,129	18,209	56.6	1,659.74

(参考) 自己資本 2021年2月期第1四半期 15,387百万円 2020年2月期 15,931百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2021年2月期	—	—	—	—	—
2021年2月期(予想)	—	15.00	—	25.00	40.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年2月期の連結業績予想（2020年3月1日～2021年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：有

現時点において業績予想の算定が困難であることから、2020年3月10日に公表した数値を一旦取り下げ、未定とさせていただきます。通期の連結業績予想につきましては、合理的な算定が可能となった時点で改めて開示いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年2月期1Q	9,696,500株	2020年2月期	9,696,500株
② 期末自己株式数	2021年2月期1Q	97,958株	2020年2月期	97,958株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年2月期1Q	9,598,542株	2020年2月期1Q	9,591,276株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において合理的な予想の算出が困難なため未定としております。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

2020年7月27日に、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表および主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書および四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	9
(1) 製品およびサービスに関する情報	9
(2) 海外売上高	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、世界経済は急速な悪化を余儀なくされました。その状況は今なお継続しております。

このような状況のもと、当社グループにおきましても、主要販売先である自動車部品メーカーの各国での操業停止や減産の影響を受け、売上高は5,884百万円（前年同期比13.2%減）となり、営業利益は142百万円（前年同期比54.0%減）となりました。また、世界経済の悪化、原油相場急落等に起因する新興国通貨下落の影響による海外連結子会社での為替差損の発生により、経常利益は24百万円（前年同期比93.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失は17百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益177百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

①日本

(特殊潤滑油)

国内自動車部品メーカーの操業停止や減産の影響を受け、ダイカスト用油剤、切削油剤、熱間鍛造潤滑剤や難燃性作動液、加えて自動車ケミカル製品であるブレーキ液、不凍液等においても大幅な減収となりました。このような状況の中でも、あらゆる産業分野で使用される高真空ポンプ油は小幅な減収にとどまりました。

(合成潤滑油)

ハードディスク表面潤滑剤は、データセンター向けドライブ需要が増加傾向にあることから増収となりました。また、高温用潤滑油の出荷も堅調に推移し、前年同期並みの実績となりました。

(素材)

流動パラフィン、リチウムイオンバッテリー用途での出荷が堅調に推移し、前年同期並みの実績となりました。その一方で、ポリスチレン可塑性用途の出荷が顧客での設備定期修理による工場稼働率低下の影響を受け、また化粧品用途での出荷が、インバウンド消費の減少や外出自粛の影響を受け、ともに前年同期を下回りました。

金属加工油の添加剤として使用されるスルホネートは、上述の特殊潤滑油と同様の要因により減収となりました。

(ホットメルト接着剤)

主力の衛生材用途での出荷は堅調に推移し、前年同期並みの実績となりました。また、粘着用途での出荷は宅配便需要増加に伴う荷札シール需要の増加により前年同期を上回りました。一方で、自動車内装関連用途での出荷は前年同期を下回りました。

(エネルギーデバイス材料)

有機EL用封止材およびガス・水蒸気透過度測定装置は、顧客での操業停止や減産あるいは設備投資の延期等の影響を受け減収となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は4,395百万円（前年同期比15.3%減）となり、セグメント利益は69百万円（前年同期比69.4%減）となりました。

②中国

当第1四半期（1～3月）は、春節休暇とその後の新型コロナウイルス感染拡大防止のための全土にわたる移動制限の実施により、企業活動は大きく制限を受けることとなりました。この間の同国における自動車生産台数は前年同期比45.1%減少と、過去に例を見ない規模の落ち込みとなりました。このような状況の中で、特殊潤滑油およびホットメルト接着剤の売上は前年同期を下回りましたが、3月中旬以降の経済回復が予想以上のペースで進捗したこともあり、その下落幅は想定範囲内に収まっております。

この結果、当セグメントの売上高は539百万円（前年同期比19.3%減）となり、セグメント利益は7百万円（前年同期比77.3%減）となりました。

③東南／南アジア

米中貿易摩擦に起因しての貿易環境悪化の状況に加え、新型コロナウイルス感染拡大の影響も受け、アセアン主要国における当第1四半期（1～3月）の自動車生産台数は前年同期比減で推移しました。このような状況の中で、ダイカスト用油剤等特殊潤滑油は減収となりました。一方、ホットメルト接着剤の売上は堅調に推移し、前年同期並みの実績となりました。昨年7月に竣工したインド子会社においては、今年1月より現地生産品の販売を開始したところですが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、活動は停滞を余儀なくされております。

この結果、当セグメントの売上高は1,072百万円（前年同期比4.4%減）となり、セグメント利益は48百万円（前年同期比28.2%減）となりました。

④北米

当第1四半期（1～3月）の自動車生産は1、2月は堅調に推移したものの、3月には新型コロナウイルス感染拡大の影響により急減し、当第1四半期累計では前年同期を割り込む結果となりました。このような状況の中で、高付加価値型ダイカスト用油剤および高温用潤滑油の出荷が好調に推移しました。

この結果、当セグメントの売上高は202百万円（前年同期比20.0%増）となり、セグメント利益は28百万円（前年同期は20百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症の世界的蔓延の状況は未だ収束の兆しが見えておりません。当社グループにおいては、国内外における自動車生産の落ち込みが業績に大きな影響を及ぼしております。自動車メーカー各社での生産は回復基調にあるとはいうものの、その道筋は未だ不透明です。このような状況の中、今後の業績を合理的に算定することは困難であることから、2020年3月10日に公表した当期の業績予想を一旦取り下げ、未定とさせていただきます、算定が可能となった時点で速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表および主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,576	4,183
受取手形及び売掛金	6,720	5,978
商品及び製品	2,714	2,802
原材料及び貯蔵品	2,065	1,946
その他	383	476
貸倒引当金	△23	△21
流動資産合計	15,436	15,364
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,791	3,667
機械装置及び運搬具(純額)	2,085	1,919
土地	2,428	2,417
その他(純額)	730	770
有形固定資産合計	9,034	8,773
無形固定資産		
のれん	474	442
その他	572	532
無形固定資産合計	1,046	974
投資その他の資産	2,613	2,654
固定資産合計	12,693	12,402
資産合計	28,129	27,766
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,072	3,782
短期借入金	2,341	2,994
未払法人税等	161	145
賞与引当金	440	233
その他	1,049	1,444
流動負債合計	8,063	8,598
固定負債		
長期借入金	1,244	1,120
退職給付に係る負債	457	463
その他	155	120
固定負債合計	1,856	1,703
負債合計	9,919	10,301
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,118	2,118
資本剰余金	1,979	1,979
利益剰余金	11,998	11,741
自己株式	△157	△157
株主資本合計	15,939	15,681
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15	14
為替換算調整勘定	△10	△301
退職給付に係る調整累計額	△13	△8
その他の包括利益累計額合計	△7	△294
非支配株主持分	2,278	2,078
純資産合計	18,209	17,465
負債純資産合計	28,129	27,766

(2) 四半期連結損益計算書および四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)
売上高	6,776	5,884
売上原価	4,613	3,978
売上総利益	2,163	1,905
販売費及び一般管理費	1,853	1,763
営業利益	309	142
営業外収益		
受取利息	4	9
受取配当金	1	2
持分法による投資利益	57	44
その他	20	10
営業外収益合計	82	65
営業外費用		
支払利息	4	2
為替差損	7	180
その他	2	2
営業外費用合計	13	184
経常利益	378	24
税金等調整前四半期純利益	378	24
法人税、住民税及び事業税	192	130
法人税等調整額	△59	△98
法人税等合計	133	32
四半期純利益又は四半期純損失(△)	246	△8
非支配株主に帰属する四半期純利益	69	9
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	177	△17

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	246	△8
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△21	△1
為替換算調整勘定	131	△412
退職給付に係る調整額	3	4
持分法適用会社に対する持分相当額	9	△10
その他の包括利益合計	122	△418
四半期包括利益	368	△426
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	276	△304
非支配株主に係る四半期包括利益	91	△122

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の拡大の影響に関する会計上の見積り)

当社グループは、繰延税金資産の回収可能性や固定資産の減損会計等の会計上の見積りについて、四半期連結財務諸表作成時に入手可能な情報に基づき実施しております。新型コロナウイルスの影響につきましては、今後一定期間続くものの緩やかに改善するとの仮定のもと会計上の見積りを行っております。しかしながら、新型コロナウイルスによる影響は不確定要素が多く、収束時期および経済環境への影響が変化した場合には、当社グループの財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年3月1日至2019年5月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	中国	東南/南アジア	北米	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,890	615	1,110	160	6,776	—	6,776
セグメント間の内部 売上高又は振替高	298	52	11	8	369	△369	—
計	5,188	667	1,121	168	7,145	△369	6,776
セグメント利益又は損 失(△)	227	31	68	△20	305	4	309

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額4百万円には、セグメント間取引消去14百万円、たな卸資産の調整額△9百万円および貸倒引当金の調整額△0百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年3月1日至2020年5月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	中国	東南/南アジア	北米	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,123	497	1,066	198	5,884	—	5,884
セグメント間の内部 売上高又は振替高	272	42	7	4	324	△324	—
計	4,395	539	1,072	202	6,208	△324	5,884
セグメント利益	69	7	48	28	153	△10	142

(注) 1. セグメント利益の調整額△10百万円には、たな卸資産の調整額△10百万円および貸倒引当金の調整額△0百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

(1) 製品およびサービスに関する情報

当第1四半期連結累計期間(自2020年3月1日至2020年5月31日)

外部顧客への売上高	金額(百万円)	前年同期比(%)
化学品事業	5,870	86.8%
特殊潤滑油	2,464	78.5%
合成潤滑油	525	111.4%
素材	862	89.4%
ホットメルト接着剤	1,625	94.5%
エネルギーデバイス材料	22	39.9%
その他	372	90.2%
賃貸ビル事業	13	100.0%
合計	5,884	86.8%

(2) 海外売上高

当第1四半期連結累計期間(自2020年3月1日至2020年5月31日)

	アジア	北米	その他の地域	計
I. 海外売上高(百万円)	1,877	214	27	2,118
II. 連結売上高(百万円)				5,884
III. 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	31.9	3.6	0.5	36.0

(注) 1. 地域区分は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

アジア……………中国、インドネシア、タイ、シンガポール、インド

北米……………米国、メキシコ

その他……………オーストラリア

3. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。